

2024

第38号

みたか 事業団 だより



理事長挨拶

地域に根差した福祉と新たな取り組みに向けて

本年7月、三鷹市社会福祉事業団の理事長に就任いたしました土屋です。

理事長として、三鷹市とのより一層の緊密な連携を図り、老人保健施設、在宅福祉事業、地域包括支援センター、子ども子育て施設を着実に運営し、地域に根差した福祉サービスの充実を図ってまいります。また、昨年12月に事業を開始した三鷹市福祉Laboどんぐり山では、在宅医療・介護の推進に向けて、新たな福祉サービスの開発と拡充に取り組んでまいります。

昨今、地域社会が抱える課題は複雑化・重層化しており、今までのような画一的な対応では対処しきれない困難なケースが増えています。制度の充実が図られた一方で、その狭間となり、行政や地域のさまざまなネットワークでも把握しきれない潜在的な要支援者も増えていると思われます。こうした時代の流れに対応していくためには、これまでの既成概念に捉われない発想を持ち、先進的な技術・サービスを積極的に取り入れるなど、地域社会が抱える課題の解決に向けて果敢に立ち向かう「人財」が必要であることは間違いありません。

法人の設立から26年目を迎え、事業団の職員は400名を超えるまでになりました。その間、多くの地域住民や利用者の方々に支えられ、「人財」は確実に育っていると感じています。職員一人一人が地域福祉の担い手として同じ方向を目指して邁進できるよう、職員の先頭に立ち、事業を推進してまいります。



理事長 土屋 宏

はなかいどう祭を開催しました

今年もはなかいどうの夏の風物詩、はなかいどう祭を開催しました。

ステージでは、三鷹市指定無形民俗文化財である新川囃子保存会の皆様がお囃子や獅子舞などを披露され、一気にお祭りムードが盛り上がり、華やかに始まりました。

昨年度よりも数を増やした屋台では、焼きそば、綿あめ、かき氷など、お祭りならではのメニューが並びました。射的やおもしろくなどのコーナーでは、子供の頃を思い出しながら、ご家族と一緒に楽しめました。賑やかな笑い声が溢れ、「景品をもらったよ」「かき氷、何味にするか迷ったわ」とたくさんの嬉しいお声をいただきました。

お祭りは、職員による懐かしのヒットソング披露でクライマックスを迎え、ご利用者の方々にも振りや手拍子に参加していただき、会場全体で楽しむことができました。「あれは誰だろう?」「まさかあの人が!」と驚きの声もたくさん聞かれました。多くのご家族のご来場と、ボランティアの皆様のご協力により、大盛況のお祭りとなりました。



【大沢地域包括支援センター】わさび体操

大沢地域包括支援センターでは、平成21年度から体操教室『わさび体操』を開催しています。

この教室名は、心と体にピリッと効く体操という意味で、大沢名産のわさびに由来していて、自力で往来できればどなたでも参加可能です。

講師の田中先生は、体操のみならず巧みな話術で、毎回笑いが絶えない体操教室です。講話の時間は、時にはスペシャルゲストとして三鷹警察署や三鷹消防署、介護保険に関する事業者の方々をお招きし、皆様の生活に役立つ情報をお伝えしています。

各会場日時

大沢コミュニティ・センター【3階 鑑賞室】

日時：毎月第1、3金曜日
10時30分～12時(体操1時間、講話30分)

大沢公会堂【1階】

※新規参加者受付停止中

日時：毎月第4土曜日
10時～11時30分(体操1時間、講話30分)



【三鷹市福祉Laboどんぐり山】多くの団体が施設見学に来訪

企業等との協働での研究、市民や専門職向け等の各種研修、事業者支援、生活動作のリハビリのための入居施設という複数の機能が一体となった三鷹市独自の「在宅医療・介護の推進拠点」。それが令和5年12月にオープンした三鷹市福祉Laboどんぐり山です。

開設以降、多くの注目をいただき、市内外からの見学・視察が続いています。市内からは、地域の見守りボランティアである「ほのぼのネット」の皆様をはじめ、住民協議会や老人クラブの皆様など様々な地域団体・グループが、市外からは、協働を検討する企業の皆様や他自治体の議会による視察など、累計の見学者数は令和6年8月末時点で450名を超えました。

市内の地域団体・グループによる施設見学会の際は、介護人財育成センターの管理栄養士や看護師によるミニ講話、あるいは協働事業者によるVRリハビリ機器の体験会などを併せて開催し、参加された方々から大変好評を博しています。

より多くの人に福祉Laboを知って、活用していただくために、こうした施設見学会をはじめとして、地域に開かれた取り組みを進めていきます。



保育園・こども園

三鷹西野保育園 「あそびを通して」

西野保育園では、昨年度に引き続き、木材や自然に触れる木育の講師の“トムテさん”を招き、子どもたちと積み木を楽しんでいます。子どもたちも講師の先生を「トムテさん、トムテさん」と親しみを持って呼んでいました。口数少なく、黙々と出来上がっていくトムテさんの積み木の世界。木目の様々な四角を組み合わせる生まれる無限の創作に、子どもたちは夢中になって楽しみました。

先日は積み木や白木ブロック、木のおもちゃを全部ホールに集めて、幼児3クラスが一緒にあそびました。5歳児の作ったタワーに自然と集まる3・4歳児。時には、ふと手を触れてしまい、お兄さんお姉さんの作ったものが壊れてしまうという場面もありましたが、保育者を介しながらお互いを認め合う姿は、保育園ならではの異年齢の関わりを感じる瞬間でした。また、3歳児クラスでは夕方を積み木の時間として楽しんでいます。自分の作り上げた世界を友だちと繋ぎ合わせたり、共有したり、「積み木パーティーしようよ」と誘い合ったりと、大好きな時間です。

「あそびは子どもにとって生きる力を得る学びの場であること。時には失敗や喧嘩した経験も成長の糧となること。その足場であり、環境を作るのが保育者の役割である」というトムテさんの言葉を胸に、私たちも日々の保育に取り組んでいます。



三鷹ちどりこども園 「おいしさ満点! 収穫物大集合〜!」

ちどりこども園では、今年も幼児クラスでオクラやピーマン、なす、きくらげ、さつま芋、お米など、たくさんの作物を栽培しています。

毎日水やりを行う中で、苗が生長し、花を咲かせ、実がなる過程を観察してきた子どもたちは、お友だちや保育者と、自分たちで育てる喜びを分かちあいながら栽培に励んでいます。

次々に作物が実ると嬉しそうな子どもたち。「ピーマンが収穫できそうだよ!」「なすも大きくておいしそうだね!」「きくらげもそろそろ食べられるかな」と収穫を待ちわびていました。そして先日、ついに収穫の日をむかえ、たくさんの作物が大集合!給食室で調理し、その日の給食で食べました。自分たちで育てた野菜は格別で、「甘くておいしい!」「おかわりしたいな」と大絶賛です。クラスの垣根を越えて、乳児クラスのお友だちにもおすそ分けをすると、お兄さんお姉さんが一生懸命育ててくれた野菜に興味津々で、進んで食べていました。

秋が深まる頃には、お米やさつま芋の収穫が始まります。収穫したさつま芋を使用しての芋煮会では、収穫を喜び、みんなで秋の味覚を味わう中で、自然との関わりや食の大切さに気づき、さらに食への興味関心を深めてもらえたらと思います。



保育園・こども園

三鷹駅前保育園 「絵の具って不思議だね!」

三鷹駅前保育園では、毎日散歩へ出かけたり、屋上のスペースを利用したりして、日中の活動を楽しんでいます。ある日の1歳児クラスでは、屋上で手や指を使って絵を描くフィンガーペインティングをして遊びました。大きな紙を用意すると、何が始まるんだろうと興味津々な様子で覗きに来る子どもたち。保育者が絵の具の付いた指や手のひらで紙を触ると、子どもたちもドキドキしながら真似をしてやってみます。紙に付いた絵の具を見て色が着いたことを喜ぶ子、絵の具の付いた自分の指や手を不思議そうに眺める子、パレットの上の絵の具を指で擦って感触を楽しむ子と、子どもたちそれぞれに楽しんでいる様子が見られました。最後には全身絵の具だらけになりながらも、自由に表現できる喜びを感じていたようです。保護者の方からも「汚れた洋服を見て、楽しんだ様子が伝わってきました」との声をいただきました。



保育園のあそびの中には、子どもたちにとって面白い発見や不思議な発見がたくさんあります。そのひとつひとつが創造性や想像力を育み、お友だちとのつながりにも役立っています。これからも色々なあそびを通してたくさんの楽しい発見や、のびのびと自己表現ができるようにしていきます。

三鷹南浦西保育園 「花や植物に触れて…」

南浦西保育園では、「花と緑のまち三鷹創造協会」の方々に来園していただき、5歳児クラスが花育活動を行いました。協会の方が持ってきてくれた様々な種類のハーブに触らせてもらって、「はっぱがふわふわしてる」「こっちは虫よけみたいなにおいがするね」と、実際に触れて、においを嗅いでみることで、子どもたちなりの気づきや発見があり、それを友だち同士で共有する姿もありました。そのあとは園庭に出て、1人1株ずつプランターに苗を植える体験をし、最後には“キッズガーデナー”の賞状をいただきました。



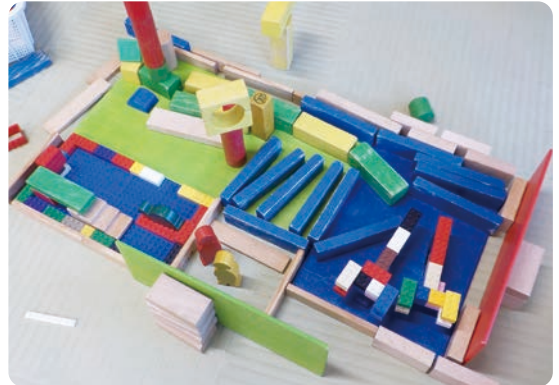
保育室に戻ると、図鑑をひらいて今回植えた花やハーブを探し、「むらさきいろの花が咲くんだね」「ぼくが植えたのはこの花だよ」と調べたり、「お花にお水をあげなきゃね!」などと声を掛けあったりと、植物を育てることを楽しみにしている様子がありました。このような体験が身近な植物や自然への興味関心につながり、子どもたちの学びも深まったようです。これからも、子どもたちが楽しく自然に触れることのできる活動や機会をつくりながら、「自然や命を大切にする気持ち」を育めるように関わっていきます。

保育園・こども園

三鷹赤とんぼ保育園 「積み木で“創意工夫”」

赤とんぼ保育園の4歳児クラスでは、積み木あそびがブームになっています。小さいサイズの積み木や色がついている積み木など、形や色の異なる積み木を自分たちで考えながら組み立てて遊んでいます。友だちとも協力しながらどんなものを作るかを考えて、「この積み木はここに置いてみようよ」「どこに置いたらもっと転がるかな」とそれぞれが意見を出しあっています。最近では、高低差や仕掛けを使って積み木を転がす遊び方に興味を示しているようです。積み木の角度や置き方を工夫して、丸型の積み木がうまく転がるかを試してみたり、どこまで転がせるかを競いあったりと、自分たちが表現したいものを想像しながら、創意工夫をして楽しんでいます。友だちと一緒に考えたものが形となり、思ったように動いたときはとても嬉しそうです。

他にも、積み木を使用したおうち作りにも挑戦し、「家具はどこに置こうかな」「自分の家はどんな形だったかな」とイメージを膨らませながら遊ぶ姿が見られます。「作る」ことが大好きな4歳児クラスの子どもたちなので、今後も様々な玩具や素材を使って、自由な発想で楽しめるようにしていきます。



社会福祉法人 三鷹市社会福祉事業団 経 営 理 念

人びとが健やかに安心して暮らせるよう、公正かつ思いやりのあるサービスを提供することにより、地域における信頼を創造します

三鷹市社会福祉事業団施設等一覧

本部事務局

TEL:0422(44)5211
〒181-0002 東京都三鷹市牟礼6-12-30

三鷹市牟礼老人保健施設

TEL:0422(44)7700
〒181-0002 東京都三鷹市牟礼6-12-30

高齢者在宅福祉部

三鷹市井の頭地域包括支援センター／TEL:0422(44)7400
在宅福祉サービス事業／TEL:0422(43)8804
はなかいどう指定居宅介護支援事業所／TEL:0422(76)8815
ヘルパーステーションはなかいどう／TEL:0422(43)8810
〒181-0002 東京都三鷹市牟礼6-12-30

井の頭地域福祉支援センター／TEL:0422(24)7335
〒181-0001 東京都三鷹市井の頭2-32-30
(井の頭コミュニティ・センター新館1階内)

三鷹市大沢地域包括支援センター／TEL:0422(33)2287
〒181-0015 東京都三鷹市大沢4-8-8

児童福祉部

児童支援室／TEL:0422(24)8881
〒181-0002 東京都三鷹市牟礼6-12-30

三鷹市立母子生活支援施設三鷹寮

三鷹西野保育園／TEL:0422(39)7030
〒181-0016 東京都三鷹市深大寺3-3-10

三鷹ちどりこども園／TEL:0422(72)9220
〒181-0012 東京都三鷹市上連雀4-12-26

三鷹駅前保育園／TEL:0422(79)5441
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-30-12

三鷹南浦西保育園／TEL:0422(40)7551
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀7-2-1

三鷹赤とんぼ保育園／TEL:0422(40)0600
〒181-0002 東京都三鷹市牟礼3-9-3

三鷹市福祉Laboどんぐり山

代表／施設管理室／TEL:0422(24)7099
三鷹市在宅医療・介護研究センター／TEL:0422(24)7350
三鷹市介護人材育成センター／TEL:0422(24)7350
三鷹市生活リハビリセンター／TEL:0422(24)7905
〒181-0015 東京都三鷹市大沢4-8-8

